

エコアクション21 環境活動レポート

2021年度（2021年2月～2022年1月）



認証番号0007222



株式会社コーワスプリング

作成日：2022年3月1日

<http://kowa-sp.com/>



□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社コーワスプリング

代表取締役社長 木村 直子

(2) 所在地

〒359-0001 埼玉県所沢市下富1430-41

環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 取締役 菅沼 智幸

事務局 業務部 樋口 晴彦

連絡先 TEL:04-2942-2815

FAX:04-2943-0108



(5) 事業の規模（2021年度実績）

製品出荷数量 1億8574万個

主要製品生産量 539トン

従業員	48名
延床面積	1,928㎡

ISO9001 2002年9月認証登録

エコアクション21 2011年7月認証登録

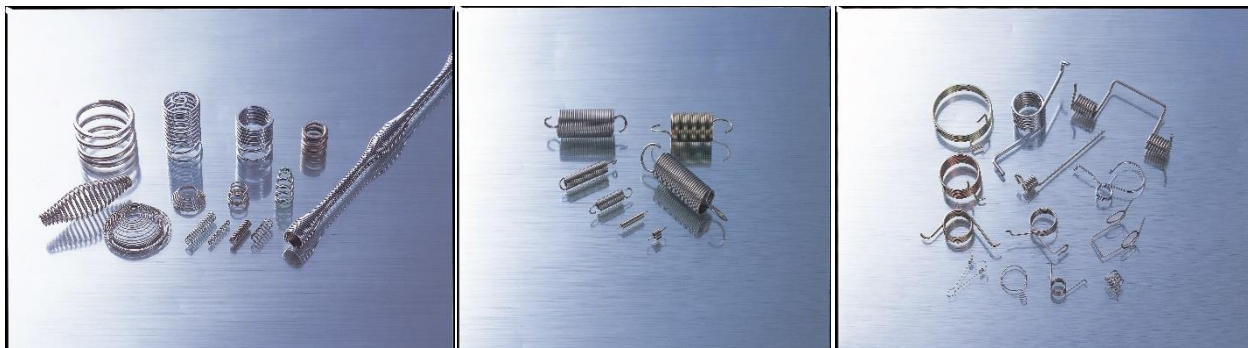
(6) 事業年度

2021年2月1日～2022年1月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社コーワスプリング

活動： スプリングの製造及び販売



株式会社コーワスプリング 環境方針



基本理念

当社は、ばね製造メーカーとして、設計から生産に至るまで常に新しい価値創造に挑戦し、かけがえのない地球環境を守るため従業員1人ひとりがその大切さを認識し、すべての業務の中で環境保全活動を推進し快適な自然環境保護に努めます。事業活動を通じ、全社員が自主的かつ積極的な環境保全活動に取り組み、環境負荷の低減に努めます。

基本方針

私達は、事業活動全般から発生する環境負荷の低減や環境改善を図るため、次の事項に重点的に取り組みます。

1. 環境等関連法令を遵守し環境汚染を未然に防止します
2. 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
3. 廃棄物の分別・リサイクルを推進し排出量を削減
4. 資源の有効活用（原材料・水）に努めます
5. 事務用品のグリーン購入（エコマーク商品）
6. 環境負荷が低減する製品づくり、提供に努めます
7. 環境目標を設定し継続的改善と環境汚染の予防に努めます

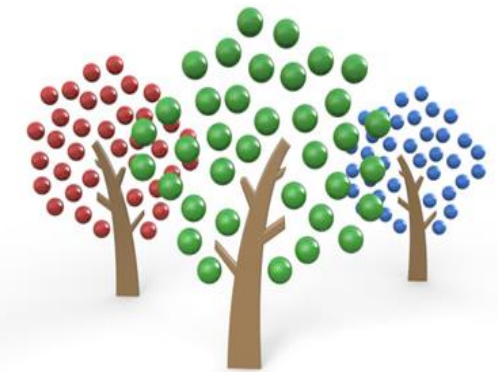
この方針は当社で働く全従業員に周知徹底し、その活動の実施、達成に努めます。

2011年5月1日 制定

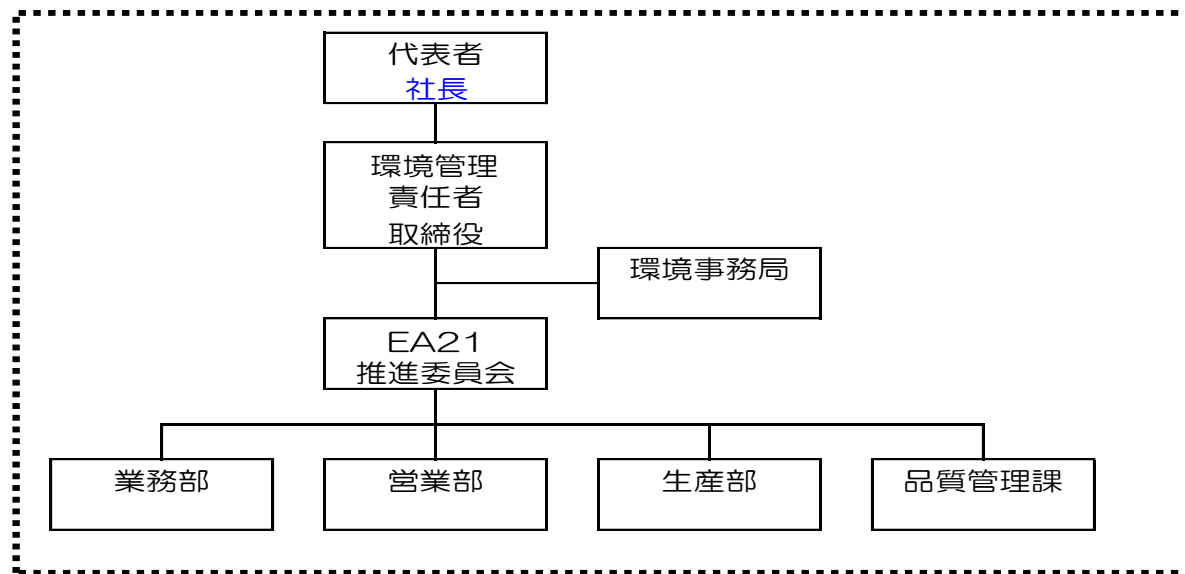
2015年2月1日 改定

代表取締役

木村 直子



株式会社コーワスプリング 環境経営組織図



担当	役割・責任・権限	担当	役割・責任・権限
代表者 (代表取締役)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・環境活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境活動レポートの承認 	環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境目標、環境活動計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 毎年環境活動レポートの作成、公開 (事務所に備付けと地域事務局への送付)
管理責任者 (取締役)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境目標・環境活動計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境活動レポートの確認 EA21推進委員会の委員長を務める 	EA21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の自部門への周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成テスト、訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
		全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

様式：5-01



環境目標と実績



※目標値は基準年に対する削減量

項目	単位	基準年度	目標値 (削減率)	2022年度(2022年2月~2023年1月)					2023年度	2024年度	2025年度	
				基準年度同期間と比較					23年2月~24年1月	24年2月~25年1月	25年2月~26年1月	
				基準年度実績	目標値	実績値			目標値	目標値	目標値	
						結果	基準年対比削減率	達成率				
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	kw/h	2021年度	-2%/年	740,307	725,501				710,695	695,889	681,082
	自動車燃料 軽油平均燃費の向上	km/l	2021年度	+1%/年	10.34	10.44				10.55	10.65	10.75
	二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	2021年度	-2%/年	386,029	378,308				370,588	362,867	355,147
省資源	水使用量の削減	m ³	2021年度	-3%/年	1,023	992				962	931	900
	一般廃棄物の削減	kg	2021年度	-3%/年	4,630	4,491				4,352	4,213	4,074
	スクラップの削減	kg	2021年度	-3%/年	12,217	11,850				11,484	11,117	10,751
	産業廃棄物 (金属くず)の削減	kg	2021年度	-3%/年	4,528	4,392				4,256	4,120	3,985

※購入電力の排出係数は東京電力0.441(kg-CO₂/kwh)、イーセル0.496(kg-CO₂/kwh)

様式：5-01



環境目標と実績



※目標値は基準年に対する削減量

項目	単位	基準年度	目標値 (削減率)	2021年度(2021年2月~2022年1月)					2022年度	2023年度	2024年度	
				基準年度同期間と比較					22年2月~23年1月	23年2月~24年1月	24年2月~25年1月	
				基準年度実績	目標値	実績値			目標値	目標値	目標値	
						結果	基準年対比削減率	達成率				
酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	kw/h	2019年度	-2%/年	718,922	704,544	740,307	-2.97%	94.92%	690,165	675,787	661,408
	自動車燃料 軽油平均燃費の向上	km/l	2019年度	+2%/年	10.29	10.50	10.34	-0.49%	98.49%	10.70	10.91	11.11
	二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	2019年度	-2%/年	387,321	379,575	386,029	0.33%	98.30%	371,828	364,082	356,335
省資源	水使用量の削減	m ³	2019年度	-5%/年	985	936	1,023	-3.86%	90.71%	916	896	877
	一般廃棄物の削減	kg	2019年度	-2%/年	5,450	5,341	4,630	15.05%	113.31%	5,232	5,123	5,014
	スクラップの削減	kg	2019年度	-4%/年	12,339	11,845	12,217	0.99%	96.86%	11,599	11,352	11,105
	産業廃棄物 (金属くず)の削減	kg	2019年度	-5%/年	5,764	5,476	4,528	21.44%	117.31%	5,361	5,245	5,130

※購入電力の排出係数は東京電力0.441(kg-CO₂/kwh)、イーセル0.496(kg-CO₂/kwh)

2022年度コーワスプリングの環境活動実施計画/実績

作成日： 2022年2月1日

改訂日：

環境管理責任者	事務局

環境目標	目標達成手段 (具体的方法)	実施責任者	スケジュール												評価	中期・長期計画/指小(環境管理責任者・事務局)及び目標達成率、前年実績対比	
			2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月			
電力使用量削減 2022年度目標 725,501kWh (2021年度実績に対し2%削減)	①不要時間・不要箇所の消灯、間引きと設備電源OFF ②クールビズ・ウォームビズの励行 ③空調温度管理(夏期室温28℃、冬期室温20℃) ④デマンド管理の徹底	捲線課 石川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	半 期 評 価	
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
【基準年】2021年度 740,307kwh																	
(2021年度実績 740,307kwh)		目標 725,501kWh	62,359	65,737	65,099	51,250	66,453	65,261	56,960	60,812	56,071	60,402	56,652	58,445	通 期 評 価		
中長期目標(基準年に対する削減率)		(累計)	62,359	128,096	193,195	244,445	310,898	376,159	433,119	493,931	550,002	610,404	667,056	725,501			
2023年度 (-4%)		実績(月別)															
2024年度 (-6%)		(累計)															
2025年度 (-8%)		月次実績評価															
研削くず(塵屑)の削減 2022年度目標 4,392kg (2021年度実績に対し3%削減)	①研削量の削減 ②アマノ式集塵機の一斉保守点検の実施 ③研削粉(砥石の総使用枚数から研削くず排出量の算出もおこない改善に役立てる)	研削課 真砂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	半 期 評 価		
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
【基準年】2021年度 4,528kg																	
(2021年度実績 4,528kg)		目標 4,392kg	0	776	0	863	0	776	0	0	659	660	0	658	通 期 評 価		
中長期目標(基準年に対する削減率)		(累計)	0	776	776	1,639	1,639	2,415	2,415	2,415	3,074	3,734	3,734	4,392			
2023年度 (-6%)		実績(月別)															
2024年度 (-9%)		(累計)															
2025年度 (-12%)		月次実績評価															
自動車燃料 軽油平均燃費の向上 2022年度目標 10.44 km/l (2021年度実績に対し1%向上)	①運行管理表を記入し毎月の車両走行距離・燃費を集計する ②暖気運転の自粛の徹底 ③エコドライブ10の徹底 ④運転診断レポートの結果毎月周知徹底 ⑤運行管理表の集計結果から問題を見出し、早期の改善策施行を心掛ける。	営業部 小林	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	半 期 評 価		
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
【基準年】2021年度 10.34 km/l																	
(2021年度実績 10.34 km/l)		目標 10.44km/l	7.84	9.84	11.68	8.48	9.75	10.37	9.49	10.92	10.83	11.15	12.75	12.25	通 期 評 価		
中長期目標(基準年に対する削減率)		(累計)	7.84	8.84	9.79	9.46	9.52	9.66	9.64	9.80	9.91	10.04	10.28	10.44			
2023年度 (+2%)		実績(月別)															
2024年度 (+3%)		(累計)															
2025年度 (+4%)		月次実績評価															
水使用量の削減 2022年度目標 992m (2021年度実績に対し3%削減)	①こまめに水道を止めて、出しっぱなしにしない ②漏水が無いかわ道メーターをチェックする ③掲示物を作成し節水意識を高める	業務部 樋口	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	半 期 評 価		
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
【基準年】2021年度 1,023m																	
(2021年度実績 1,023m)		目標 992m	86	86	77	77	93	93	79	79	87	87	75	75	通 期 評 価		
中長期目標(基準年に対する削減率)		(累計)	86	173	250	327	419	512	591	669	756	843	918	992			
2023年度 (-6%)		実績(月別)															
2024年度 (-9%)		(累計)															
2025年度 (-12%)		月次実績評価															
一般廃棄物の削減 2022年度目標 4,491kg (2021年度実績に対し3%削減)	①不要な印刷物を減らす。 ②ゴミの分別化の推奨アナウンス活動 ③紙のリサイクルボックスの活用強化	出荷課 曾我	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	半 期 評 価		
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
【基準年】2021年度 4,630kg																	
(2021年度実績 4,630kg)		目標 4,491kg	504	359	291	301	504	369	320	369	340	378	417	340	通 期 評 価		
中長期目標(基準年に対する削減率)		(累計)	504	863	1,154	1,455	1,959	2,328	2,648	3,016	3,356	3,734	4,151	4,491			
2023年度 (-6%)		実績(月別)															
2024年度 (-9%)		(累計)															
2025年度 (-12%)		月次実績評価															

達成手段はチェックリストにより計画○、実施●を記入。評価欄は月次が達成○、未達成×、半期評価は累計で達成○、未達成で×、通期では累計で達成○、未達成で×。各部管理責任者は6ヶ月毎に確認し、取組みに問題がある場合はコメント欄に改善を指示。

*代表者による年間活動総合コメント記入欄

2022年度コーワスプリングの環境活動実施計画/実績

作成日： 2022年2月1日

改訂日：

環境管理責任者	事務局

環境目標	目標達成手段 (具体的方法)	実施責任者	スケジュール												評価	中期・通期計画/指示(環境管理責任者・事務局)及び目標達成率、前年実績対比
			2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		
スクラップの削減 2022年度目標 11,850kg (2021年度実績に対し3%削減) 【基準年】2021年度 12,217kg (2021年度実績 12,217kg) 中長期目標 (基準年に対する削減率) 2022年度 (-6%) 2023年度 (-9%) 2024年度 (-12%)	①不良品(スクラップ)の発生を防ぐため、品質強化の中間チェックを各スタッフにて実施。 ②ステンレス・鉄系材料の分別とスクラップ発生記録の管理徹底 ③落下品防止・機械回りの改善	捲線課 今堀		○			○			○			○		半 期 評 価	
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		目標 11,850kg (累計)	0	1,220	0	1,600	1,709	1,381	1,510	0	1,260	1,380	0	1,790	通 期 評 価	
		実績 (月別) (累計)	0	1,220	1,220	2,820	4,529	5,910	7,420	7,420	8,680	10,060	10,060	11,850		
		月次実績評価														
															半 期 評 価	
															通 期 評 価	
															半 期 評 価	
															通 期 評 価	
															半 期 評 価	
															通 期 評 価	

達成手段はチェックリストにより計画○、実施●を記入。評価欄は月次が達成○、未達成×、半期評価は累計で達成○、未達成で×、通期では累計で達成○、未達成で×。各部管理責任者は6ヶ月毎に確認し、取組みに問題がある場合はコメント欄に改善を指示。

*代表者による年間活動総合コメント記入欄

2021年度コープスプリングの環境活動実施計画/実績

作成日： 2021年2月1日

改訂日：

環境管理責任者	事務局
---------	-----

環境目標	目標達成手段 (具体的方法)	実施責任者	スケジュール												評価	半期・通期評価/指摘(環境管理責任者事務局)及び目標達成率、前年実績対比				
			2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月						
電力使用量削減 2021年度目標 704,544kWh (2019年度実績に対し2%削減)	①不要時間・不要箇所の消灯、間引きと設備電源OFF ②クールビズ・ウォームビズの励行 ③空調温度管理(夏期室温28℃、冬期室温20℃) ④デマンド管理の徹底	捲線課 石川	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	半期評価 X	半期評価は、対目標▲6.12%推移。前年対比も21.62%増加となる。対前年度比は、コロナ蔓延に伴う臨時休業や大幅な受注減少による電力使用低下が要因である。対目標設定はコロナ前電力消費水準をベースに設定したが、自動車産業の挽回生産による受注回復にて対目標若干の下振れとなる。引き続き不要時間・不要箇所の消灯、間引きと設備電源OFF、空調温度・デマンド管理を励行し省電力マインドを全従業員に醸成し削減目標達成をお願いいたします。		
			【基準年】2019年度 718,922kwh	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	目標達成率 93.88% 前年度実績対比 121.62%
			(2020年度実績 656,036kwh)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	目標 704,544kWh
			中長期目標(基準年に対する削減率)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	実績(月別)
			2022年度 (-4%)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	実績(累計)
研削くず(塵屑)の削減 2021年度目標 5,476kg (2019年度実績に対し5%削減)	①研削量の削減 ②アマノ式集塵機の一斉保守点検の実施 ③研削粉(砥石の総使用枚数から研削くず排出量の算出もおこない改善に役立てる)	研削課 関根	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	半期評価 ○	対目標10.88%の上振れ。前年対比も11.58%削減と良好に推移した。引き続き全従業員に研削量の削減意識の醸成、アマノ式集塵機一斉保守点検の実施、砥石の使用枚数から研削粉排出量の算出を行い改善に役立てるようお願いいたします。		
			【基準年】2019年度 5,764kg	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	目標達成率 110.88% 前年度実績対比 88.42%
			(2020年度実績 4,666kg)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	目標 5,476kg
			中長期目標(基準年に対する削減率)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	実績(月別)
			2022年度 (-7%)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	実績(累計)
自動車燃料 軽油平均燃費の向上 2021年度目標 10.50km/l (2019年度実績に対し2%向上)	①運行管理表を記入し毎月の車両走行距離・燃費を集計する ②暖気運転の自粛の徹底 ③エコドライブ1.0の徹底 ④エアコン使用に関する勉強会、資料の配布 ⑤運行管理表の集計結果から問題を発見し、早期の改善策実行を心掛ける。	営業部 小林	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	半期評価 X	自動車燃料軽油平均燃費の向上について、半期目標8.06%未達、前年対比も2.12%増加で推移した。昨年と比較し他県訪問頻度がコロナ前と同水準まで回復したことで燃費が向上し燃費改善傾向にある。今季より導入しているドライブレコーダーによる運転診断レポートを活用し燃費意識の醸成を図り、下期も引き続き目標達成手段に掲げた項目を営業部担当者に徹底させ目標達成をお願いいたします。		
			【基準年】2019年度 10.29km/l	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	目標達成率 91.94% 前年度実績対比 97.88%
			(2020年度実績 9.65km/l)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	目標 10.50km/l
			中長期目標(基準年に対する削減率)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	実績(月別)
			2022年度 (+4%)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	実績(累計)
水使用量の削減 2021年度目標 936m (2019年度実績に対し5%削減)	①こまめに水道を止めて、出しっぱなしにしない ②漏水が無いかわ水道メーターをチェックする ③掲示物を作成し節水意識を高める	業務部 樋口	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	半期評価 X	目標に対し4.97%、前年対比は24.24%増加であった。今季目標未達要因としてトイレ洗浄研修を行うばねの品種が多かったことから目標に対し若干の未達となった。前年比の大幅な減少要因は昨年の新型コロナウイルス蔓延による緊急事態宣言発出で受注が大幅に減少し水使用量が減少したが今季に入り受注が回復したため水使用量が増加している。引き続き油断することなく節水意識の向上を徹底させ目標達成をお願いいたします。		
			【基準年】2019年度 985m	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	目標達成率 95.03% 前年度実績対比 124.24%
			(2020年度実績 925m)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	目標 936m
			中長期目標(基準年に対する削減率)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	実績(月別)
			2022年度 (-7%)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	実績(累計)
一般廃棄物の削減 2021年度目標 5,341kg (2019年度実績に対し2%削減)	①不要な印刷物を減らす。 ②ゴミの分別化の推奨アナウンス活動 ③紙のリサイクルボックスの活用強化	出荷課 曾我	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	半期評価 ○	半期評価については目標に対し30.85%削減、前年対比26.05%削減にて推移した。左記に記載した目標達成方法を遵守した他、今季よりクスコミとヒーローくみと家庭用ゴミの分別化を再徹底したことで一般廃棄物の削減ができたことが達成要因として認められる。売上増強時の生産量・作業量の増加に伴う廃棄物の増加についても注視するとともに、ゴミの分別化活動も継続実施をお願いいたします。スクランナーの活用、書類の電子ファイル化を推進し廃棄物削減できる環境の構築もお願いいたします。		
			【基準年】2019年度 5,450kg	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	目標達成率 114.01% 前年度実績対比 91.95%
			(2020年度実績 5,240kg)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	目標 5,341kg
			中長期目標(基準年に対する削減率)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	実績(月別)
			2022年度 (-4%)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	実績(累計)

*代表者による年間活動総合コメント記入欄

目標に掲げた6項目中、2項目達成、4項目は未達成となりました。51期も引き続き新型コロナウイルスが蔓延している状況でしたが、経済社会がコロナと共存すべく生産活動が再開され、当社も自動車産業を筆頭に各企業の挽回生産を受け受注が回復した結果であり、妥当性のある目標に対しての結果だと認識しています。4項目の未達については、改めて目標達成手段を全員で励行し達成出来るようお願いします。当社において経営効率上優先して取り組むべき項目である電力使用量の削減、スクラップの削減が未達であったことは次回の課題になると思います。

2021年度コーワスプリングの環境活動実施計画/実績

作成日： 2021年2月1日

改訂日：

環境管理責任者	事務局

環境目標	目標達成手段 (具体的方法)	実施責任者	スケジュール												評価	中期・通期計画/実績(環境管理責任者・事務局)及び目標達成率、前年度実績対比			
			2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					
スクラップの削減 2021年度目標 11,845kg (2019年度実績に対し4%削減) 【基準年】2019年度 12,339kg (2020年度実績 7,008kg)	①不良品(スクラップ)の発生を防ぐため、品質強化の中間チェックを各スタッフにて実施。 ②ステンレス・鉄系材料の分別とスクラップ廃棄記録の管理徹底 ③落下品防止・機械回りの改善	捲線課 今堀														X 半期評価	半期、目標に対し17.42%減、前年対比50.63%増と未達となる。昨季の新型コロナウイルス蔓延に伴う休業による生産調整、大幅な受注減少から今季一時的に生産増加に伴いスクラップが増加した為、下期については引き続き受注増加が予想見通しから、中間チェックの強化、ばね落下品の減少等全従業員に意識させる。また、ステンレス・鉄系材料の分別とスクラップ破棄記録の管理徹底を行い目標達成をお願いします。		
															X 通期評価			目標達成率 82.58% 前年度実績対比 150.63%	
			目標 11,845kg (累計)	0	1,392	0	2,131	0	1,661	1,690	1,555	1,612	0	0				1,804	X 通期評価
			実績 (月別)	0	1,254	0	1,649	1,760	1,424	1,556	0	1,297	1,420	0	1,857			目標達成率 96.86% 前年度実績対比 174.33%	
2022年度 (-6%)			0	1,254	1,254	2,903	4,663	6,087	7,643	7,643	8,940	10,360	10,360	12,217					
2023年度 (-8%)			O	O	X	O	X	O	X	O	O	X	O	X					
2024年度 (-10%)																			

達成手段はチェックリストにより計画O、実施●を記入。評価欄は月次が達成O、未達成×、半期評価は累計で達成O、未達成×、通期では累計で達成O、未達成×。各部管理責任者は6ヶ月毎に確認し、取組みに問題がある場合はコメント欄に改善を指示。

*代表者による年間活動総合コメント記入欄

環境関連法規の取りまとめ表および遵法評価結果

(2021年度 2021年2月~2022年1月)



環境関連法	該当する要求事項	規制の適用・該当施設	遵法評価
騒音規制法	公害防止主任者の届出 特定施設の数等の変更の届出 規制基準の遵守義務	フォーミングマシン 空圧機 (7.5kw以上) 昼 (8:00~19:00) 55デシベル 朝 (6:00~8:00) 50デシベル 夕 (19:00~22:00) 50デシベル 夜間 (22:00~6:00) 45デシベル	・公害防止主任者の届け出 2名届出済み ・特定施設の届け出 フォーミングマシン 36台 空気圧縮機 2台 届出済み 遵法 ○
振動規制法	公害防止主任者の届出 特定施設の数等の変更の届出 規制基準の遵守義務	フォーミングマシン (37.5kw以上) 空圧機 (7.5kw以上) 昼 (8:00~19:00) 60デシベル 夜間 (22:00~6:00) 55デシベル	・特定施設の届け出 フォーミングマシン 該当無し 空気圧縮機 2台 届出済み 遵法 ○
廃棄物処理法	産廃収集運搬・処理業者との契約書及び許可証写し保管 保管基準 60cm×60cm以上表示、飛散・浸透防止・衛生管理 マニフェスト交付 B2,D,E票の保管 (5年間),D票90日,E票180日以内に送付されな い場合は30日以内の知事への報告 産業廃棄物管理票交付等状況報告書を知事へ提出 (毎年3/31分迄を6月末迄に) 特別管理産業廃棄物を生ずる事業場は特管物管理責任者を置く	産業廃棄物 金属くず (研磨くず)、廃油、廃プラ類、木製パレット、 汚泥 廃油 (引火点70℃未満の燃焼しやすいもの)	契約書・許可書 マニフェスト確認 特別管理産業廃棄物責任者 資格保有者1名 遵法 ○
浄化槽法	埼玉県生活環境の保全に関する条例に従う	3ヶ月に1回の点検 年1回の清掃 年1回の水質検査	保有浄化槽 3基 点検及び清掃実施済み 遵法 ○
フロン排出抑制法	①適切な場所への設置 ②機器の点検 ③漏洩防止措置・修理しないままの充填の原則禁止 ④点検等の履歴の保存	・全ての第一種特定製品:業務用空調機 5台 簡易点検の実施 (3ヶ月に1回以上) ・7.5kw以上50kw未満の第一種特定製品 専門業者による定期点検の実施 (3年に1回以上):該当設備無し	簡易点検の実施及び履歴 の保存有り 遵法 ○
家電・PCリサイク ル法	指定家電の回収処理 (テレビ・冷蔵庫 他) PCの回収処理 (パソコン本体・モニタ)	指定製品廃棄時	遵法 ○
自動車リサイクル法	自動車の回収処理	自動車廃棄時	遵法 ○
消防法	灯油の取り扱い	常時200ℓ未満の保管とする 灯油の保管場所は火気厳禁とする	遵法 ○

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、環境法規等の逸脱はありませんでした。

また、関係当局よりの違反、訴訟等の指摘は過去3年間ありません。



代表者による全体の評価と見直し記録



2022年3月1日

代表取締役 木村直子

見直しに必要な情報（環境管理責任者の報告、従業員の提案を含む）		社長による全体の評価	変更の必要性と代表者の指示
環境方針	2、環境方針に示された「環境取り組みの基本的方向」は現在も適切か ・環境方針が実行され、E A21全体の取組は効果的か	環境方針は現在も適切な内容です。 E A21の取組は環境方針に沿った内容で適切に実施運用されており、全従業員に対して環境関連の教育、内部コミュニケーション、緊急事態訓練を実施するなど、環境経営システムは有効に機能していると評価します。	変更の必要性 <input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し 「有り」の場合の指示内容
環境目標、環境活動計画	3、環境目標、環境活動計画の達成状況は妥当か ・二酸化炭素排出量削減（省エネルギー） ・廃棄物排出量削減（リサイクル） ・総排水量削減（節水）ほかの実績 ・新規テーマはないか	目標に掲げた6項目について、2項目の達成、4項目については未達となりました。51期も前期同様新型コロナウイルスが蔓延しましたが、経済活動は少しずつ上向きはじめ自動車業界の挽回生産等受注増加に転じた中、妥当性のある目標に対しての結果だと認識しております。達成項目は100%~117%範囲内であり適格です。未達項目については、改めて目標達成手段を励行させ達成できる環境を構築致します。適正な目標数値で管理される活動は、社員一人一人の確認・改善・啓蒙等、高い環境マインドを醸成させることから、引き続き本計画を推進していく所存であり、変更は不要であると考えます。	変更の必要性 <input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し 環境方針、環境目標、環境活動計画について、現時点では見直しの必要はないと思われる。その他の環境経営システムの要素についても、継続して実践していくものとする。
その他の環境経営システム	3、環境負荷に大きな変化はないか 環境への取組状況に変化はないか 4、法規、条例の内容に変更はないか 法規制は遵守しているか 6、実施体制は効果的か 7、教育・訓練は実施されているか 8、外部からの苦情や要望はないか 9、実施及び運用は適切か 10、緊急事態への準備と訓練は適切か 11、文書・記録の作成と整理は適切か 12、取組状況の確認は適切か 問題の是正処置は有効か	3、変化は無い 4、法規制は遵守されている。今後も法律改正に注意を払い運営を継続していく 6、効果的な体制が構築されている 7、適切に実施されていると判断する 8、対外的な苦情は無し 9、適切であると判断する 10、適切であると判断する 11、現行通りで問題なし 12、現行通りで問題なし	

※1.見直しに必要な情報欄の番号は、環境経営システムガイドラインの必須項目(13項目)の番号を示しています。

※2.評価は毎年1回(原則として2月)に実施します。

※3.環境管理責任者は代表者の指示内容について直ちに実行に移し、その結果を代表者に報告します。